

提言「津波被災遺構の現地保存」

伊藤和明(防災情報機構会長)

首藤伸夫(東北大学名誉教授)

齋藤徳美(岩手大学名誉教授)

宇井忠英(北海道大学名誉教授)

岩松 暉(鹿児島大学名誉教授)

大石雅之(岩手県立博物館)

遺構現地保存の意義

- u 三陸は津波常襲地帯
 - u 貞観・慶長・明治・昭和等→しかるにまたも被災
- u 世界一防潮堤も破損
 - u ハード依存は限界
- u 防災教育の重要性(学校教育・社会人教育)
 - u 文書・写真・映像だけでは実感に乏しい
- u 東海・東南海・南海地震にも教訓
 - u 三連発も予想→西日本にも役立つ

現物こそ心に訴える



地震があったら津波に用心
(昭和三陸地震記念碑)

- u 昭和三陸津波記念碑
 - u 本来は津波到達地点に建立
→ここまで逃げれば助かる
 - u 現地にあってこそ意義
 - u 教訓忘れ去られ風化
 - u 区画整理で移転したのものも
- u 桜島大正噴火記念碑
 - u 100年経つと存在さえ忘れられている

ヒロシマ原爆ドーム



- u 悪夢を思い出したくないとの意見もあった
- u 世界へ原爆の悲惨さと平和の重要性を今も訴え続けている
- u 世界遺産に登録
- u 観光資源にも
 - u 平和教育の修学旅行

桜島大正噴火による埋没鳥居



「住民ハ理論ニ信賴セス異變ヲ認知スル時ハ未然ニ避難ノ用意尤モ肝要トシ...」の实例として村長が保存提案

雲仙普賢岳災害遺構



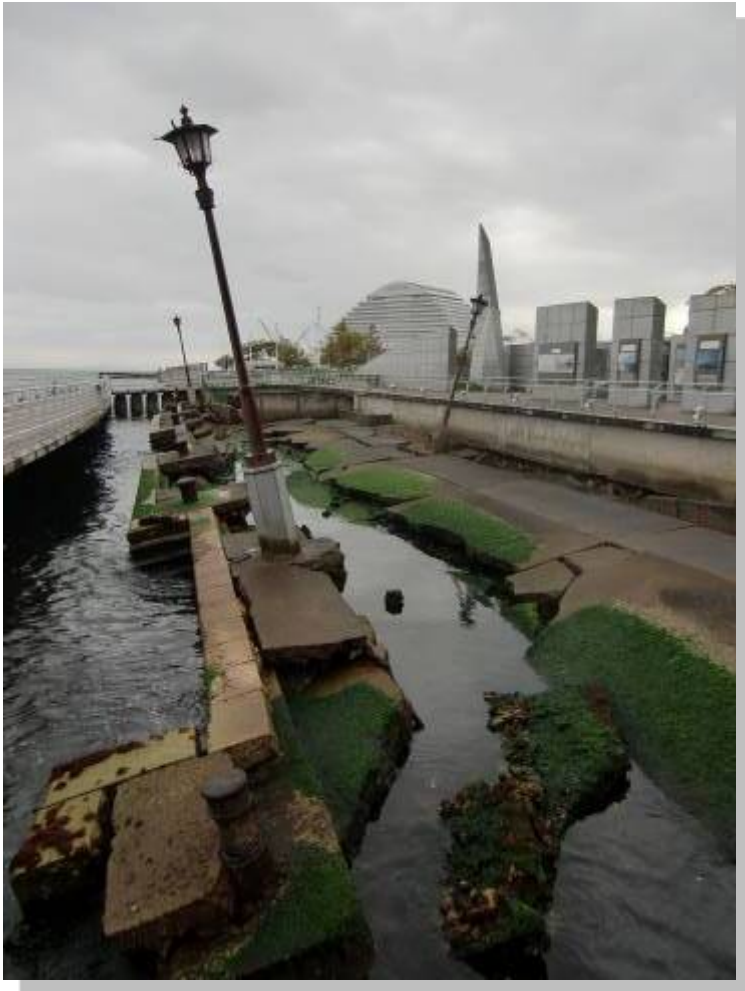
火砕流で焼けた大野木場小学校

世界ジオパークの重要な
ジオスポットの一つ

土石流被災家屋保存公園



阪神大震災被災遺構



淡路市被災民家(野島断層保存館)

←神戸市メリケン波止場

有珠山噴火遺構



2000年噴火の噴石被害(幼稚園)

世界ジオパークの重要
なジオスポットの一つ

1977年噴火遺構公園
(病院)→整然と避難



< 追加 > 津波博物館も



雲仙岳災害記念館



人と防災未来センター

モニュメントだけでなく、学習の場を！